

春採湖ウチダザリガニ捕獲について

環境保全課 自然保護担当 石崎 俊博

令和5年度春採湖ウチダザリガニ捕獲事業

1. 事業目的

春採湖及び周辺の多様な生態系を保全することを目的とし、平成18～19年度にかけて「春採湖ウチダザリガニ生息状況調査」を実施し、この結果を基に平成20年度から「春採湖ウチダザリガニ捕獲事業」を継続している。ウチダザリガニの捕獲とデータの収集及び分析を実施する。

また、特定外来生物についての関心を持ち、理解を深めてもらうため、平成20年度より市民を対象とした普及啓発事業を継続して実施する。

2. 実施方法

NPO法人環境把握推進ネットワークPEG（以下、委託業者）と委託契約を結び、年2回の捕獲業務を行う。

平成23年度から令和2年度までは、1回目の捕獲を春採湖岸一円の140地点で5日間、2回目の捕獲を湖岸北東部の70地点で10日間実施した。

これまでの捕獲結果を踏まえ、専門家と協議し、令和3年度からはより効率的な捕獲のため、湖岸一円の140地点で5日間の調査を2回行うことに変更した。

○ 1回目捕獲業務（6月26日～6月30日実施済）

○ 2回目捕獲業務（9月25日～9月29日実施済）

業務工程は、1日目に約60m間隔で70地点に漁具（どう）を設置し、2日目に漁具（どう）を引き上げ、30m移動した70地点に設置。これを繰り返し実施する。

3. 水草の増加に伴う捕獲拠点の間引きについて

(1) 経過

令和5年9月25日に2回目の捕獲業務のために漁具（どう）を仕掛けたが、一部（別紙2：51～68）地点での水草の繁茂（水草の状況は写真のとおり）に伴い、ボートで当該場所に入ることによって水草の切断など、水草への悪影響が懸念されると委託業者から相談があり、対応策を委託業者と当市で協議した。（蛭田調査員にも事前共有および対応策の内容確認を行った）

(2) 対応策

- ・ボートでの捕獲業務からカヌーを用いた捕獲業務に変更
- ・水草が繁茂している51～68地点でも継続的に捕獲数のデータを取得するため、3箇所（55・60・65地点）を定点として設定し、漁具（どう）を設置
- ・51～68地点の中でも水草の量が少なかった51・66・68地点にも設置

4. 実施状況（捕獲個体数）

1 回目捕獲結果 ※26日は漁具設置日

捕獲月日	令和5年6月				
	27日	28日	29日	30日	計
雄	95	65	59	40	259
雌	35	48	40	34	157
合計	130	113	99	74	416

・昨年度 ※5日は漁具設置日

捕獲月日	令和4年7月				
	6日	7日	8日	9日	計
雄	56	55	41	28	180
雌	49	56	42	30	177
合計	105	111	83	58	357

2 回目捕獲結果 ※25日は漁具設置日

捕獲月日	令和5年9月				
	26日	27日	28日	29日	計
雄	85	27	32	46	190
雌	135	40	56	54	285
合計	220	67	88	100	475

・昨年度 ※26日は漁具設置日

捕獲月日	令和4年9月				
	27日	28日	29日	30日	計
雄	196	190	166	120	672
雌	205	201	204	139	749
合計	401	391	370	259	1,421

総計：雄449個体、雌442個体、計891個体 ※昨年度1,778個体

5. 市民参加事業

事業名：春採湖のウチダザリガニ捕獲体験教室

実施日時：令和5年8月19日（土） 10時～12時

実施場所：春採湖畔旧ボート乗場および博物館講堂

参加人数：7家族22名、釧路湿原こどもレンジャー5家族11名

捕獲数：16個体

講師：照井 滋晴 氏（NPO 法人環境把握推進ネットワーク-PEG 理事長）

内容：○ウチダザリガニ捕獲体験

○ウチダザリガニとニホンザリガニの比較観察会

○ウチダザリガニ構造観察会（講師が解剖しながら解説）

6. その他

令和5年度、捕獲されたウチダザリガニ（廃棄物）の有効活用の可能性について、実験を開始した。

環境事業課で、生ごみ堆肥化容器等を活用した生ごみ減量化の実験を実施しており、今年度2回目の捕獲業務で捕獲したウチダザリガニ100匹を試料提供し、当実験の中で、ウチダザリガニの堆肥化実験を実施。

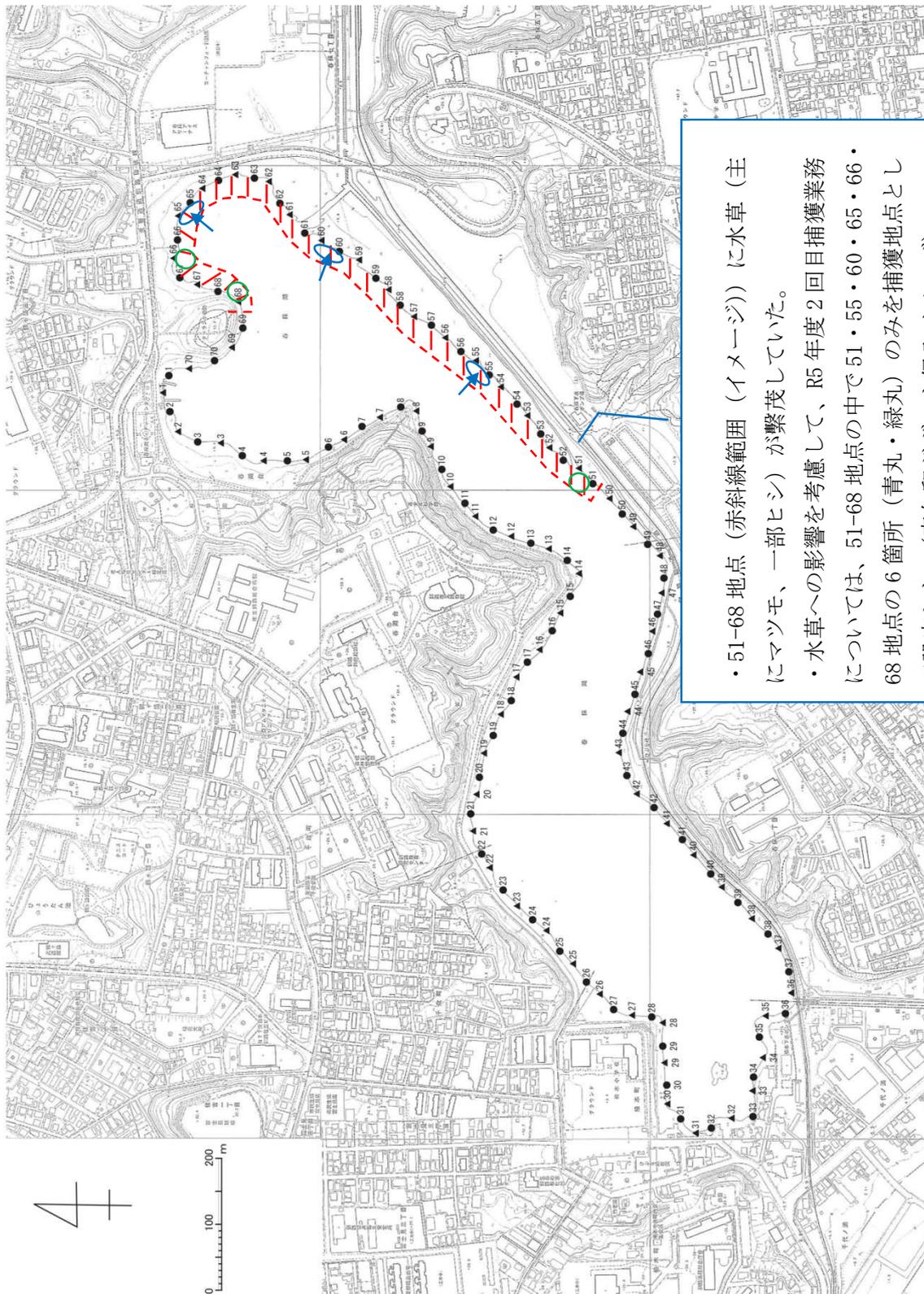
なお、実験の経過については、Instagram（アカウント名：ecocity946）で報告予定。

別紙 1
捕獲漁具設置位置



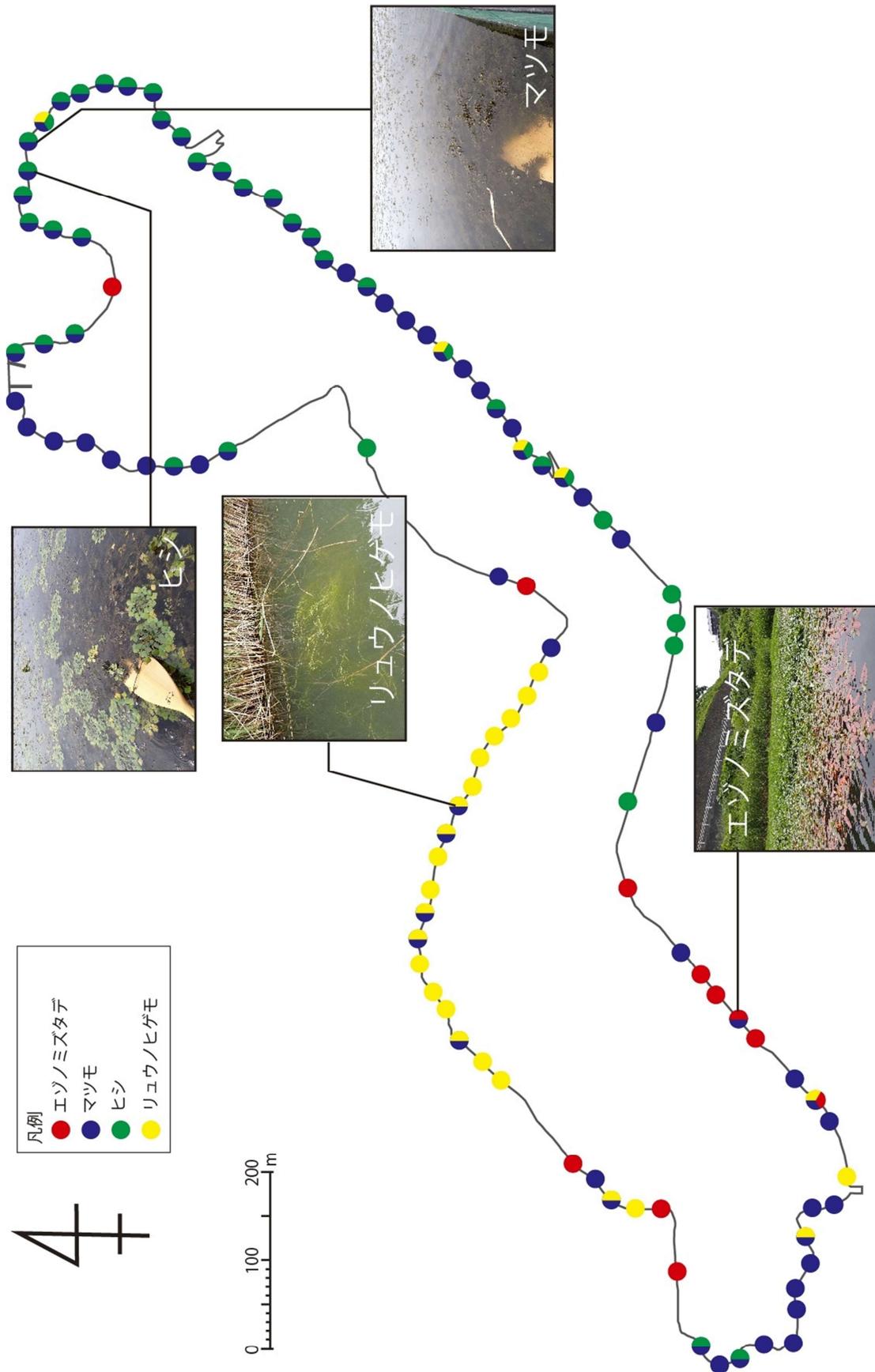
凡 例	
—	140地点 5日間実施位置

令和 5 年度春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 2 回目捕獲業務 漁具設置場所 (イメージ)



・ 51-68 地点 (赤斜線範囲 (イメージ)) に水草 (主にマツモ、一部ヒシ) が繁茂していた。
 ・ 水草への影響を考慮して、R5 年度 2 回目捕獲業務については、51-68 地点の中で 51・55・60・65・66・68 地点の 6 箇所 (青丸・緑丸) のみを捕獲地点として設定した。(青矢印がボート侵入イメージ)
 ※緑丸は水草が少なかつたため設置した。

令和5年度ウチダザリガニ捕獲事業 水草確認状況
(NPO法人環境把握推進ネットワーク-PEG作成)



令和5年度ウチダザリガニ捕獲事業2回目捕獲作業 写真



